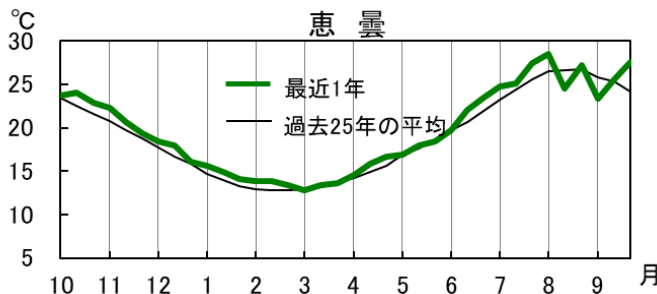
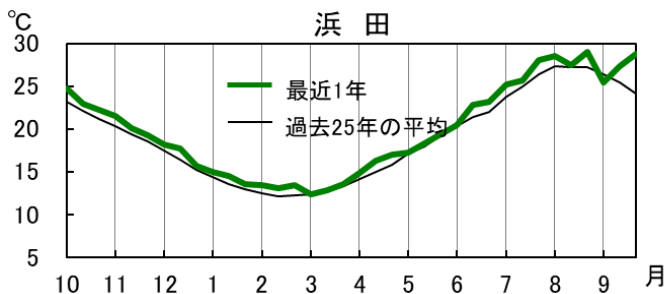




《9月の海況》



9月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	平年並み	27.7℃	+2.4℃	かなり低め	26.3℃	+1.2℃
中旬	かなり高め			平年並み		
下旬	はなはだ高め			はなはだ高め		



《9月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ、サバ類主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、マアジ、サバ類ともに平年の1割でした。隠岐地区ではマイワシ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は73.2トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マイワシは6,797トンで平年の3.6倍となった他、マアジは1,028トンで平年の2.6倍、ブリは906トンで平年の1.9倍となりました。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)での漁獲はケンサキイカ、スルメイカが主体となり、1隻1航海当りの漁獲量は296.4kgで平年の約4.6倍となりました。西郷地区(属人5トン以上)での漁獲はスルメイカが主体で、1隻1航海当りの漁獲量は53.1kgと、平年並みの水揚げとなりました。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではキダイ、アカムツ、マダイを主体に、1統1航海当りの漁獲量は7.7トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、キダイは平年の8割、アカムツは平年の7割、マダイは平年の1.1倍でした。その他、チダイは平年の1.8倍、ヤナギムシガレイは平年の1.1倍と好調でしたが、アマダイ類は平年の9割、マトウダイおよびアンコウ類は平年の7割、アナゴ・ハモ類は平年の5割、マアジは平年の3割の水揚げでした。

【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではアンコウ類、ヤリイカ、ニギス主体の漁況で、総漁獲量は221トンでした。1統1航海当りの漁獲量は611kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、アンコウ類は平年の1.0倍、ヤリイカは平年の4.2倍、ニギスは平年の1.4倍でした。その他、スルメイカは平年の9割、アカムツおよびホウボウは平年の8割、ソウハチおよびアナゴ・ハモ類は平年の6割、マトウダイは平年の5割、キダイは平年の3割の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではサバ類、ソウダガツオ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は22.2トンで平年の7割でした。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の1.2倍、ソウダガツオは平年の13.6倍でした。石見地区ではシイラ、カンパチ、マアジ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は15.7トンで平年の8割でした。魚種別の漁獲量の動向は、シイラは平年の5.3倍、カンパチは平年の1.8倍、マアジは平年の7割でした。隠岐地区ではヒラマサ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は3.2トンで平年の4割でした。魚種別の漁獲量の動向は、ヒラマサが平年の1.5倍でした。

【釣・縄】

出雲地区ではケンサキイカ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は17.9kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の2.0倍でした。石見地区ではケンサキイカ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は22.7kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の4.1倍でした。隠岐地区では、カサゴ・メバル類、キントキダイ類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は17.3kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、カサゴ・メバル類は平年の1.6倍、キントキダイ類は平年の0.7倍でした。

【令和6年9月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	マアジ、サバ類	—	—	—	—	—	—
	隠岐	マイワシ	9,882 トン	117%	179%	73.2 トン	95%	151%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ、スルメイカ	35.9 トン	370%	1159%	296.4kg	153%	457%
	西郷	スルメイカ	2.6 トン	27%	114%	53.1kg	55%	94%
沖合 底びき網	浜田	キダイ、アカムツ、マダイ	154 トン	72%	59%	7.7 トン	69%	63%
小型 底びき網	大田	アンコウ類、ヤリイカ、ニギス	221 トン	90%	72%	611 kg	80%	79%
定置網 (大型)	出雲	サバ類、ソウダガツオ	288 トン	62%	73%	22.2 トン	62%	69%
	石見	シイラ、カンパチ、マアジ	47.2 トン	87%	71%	15.7 トン	87%	75%
	隠岐	ヒラマサ	9.5 トン	71%	46%	3.2 トン	71%	42%
釣り・縄	出雲	ケンサキイカ	24.9 トン	100%	121%	17.9kg	85%	85%
	石見	ケンサキイカ	30.6 トン	166%	173%	22.7kg	112%	128%
	隠岐	カサゴ・メバル類、キントキダイ類	11.8 トン	70%	91%	17.3kg	82%	96%

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ〇〇」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ

「かなり〇〇」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ

「やや〇〇」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ

「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ